

学校名	須賀川市立第三小学校	校長	熊田順一郎
住所	須賀川市朝日田53番地		
TEL	0248-75-1155	URL	https://sukagawa.fcs.ed.jp/第三小学校

新しい授業研究づくりを通しての教員の学び

取組の概要

須賀川市では令和元年度より、市内全ての学校で「授業と授業研究を第一優先にした学校づくり」を掲げ、それぞれの学校の環境を大切にしながら、各学校のペースで進めています。須賀川市立第三小学校では、月2回の全教員参加の授業研究を行う中で、「子ども一人ひとりの学びを大切にしていくこと」、そのために「子ども一人ひとりの学びの状況がよくみえる教員になること」を目指しています。

授業研究のねらい

授業研究を「授業者からではなく子どもから学ぶ研究」「授業者ではなく参観者が主役の研究」と位置付けて、授業参観は授業者のためではなく、参観者のために行っていることと考えます。そして、「子どもを観察するだけでは参観者は学べない。子どもの学ぶ姿から教師自らが学んだことを協議し、同僚の力を借りて、自分の学級の学びをみる量と質を上げる。」ことをねらいとしています。



授業研究内容

【教育課程・時程の工夫により授業学級以外の児童は下校します。】

- 授業【月2回（令和4年度は21回）全教員が参加して、必ず45分間参観する。】
 - ・授業は現職主任、在校年数が長い職員から順に行い、転入職員は最後に行う。
 - ・事前研究、教科指定なし。・指導案なし。・子どもに配る教材と座席表を参観者に配付する。
 - ・授業者は、特別な授業ではなく日常的な主体的・対話的で深い学びの授業を実践する。
 - ・観察の分担等なし。・観察の観点等なし。
- ※ 参観者は「子どもの学びをみるトレーニング」として、特定の個人をみるのではなく、全体をみるのでもなく、全員をみようとしています。（五感をフルに生かして、少しでも子ども全員の学びの質と量をみえるようにすることを目的に授業を参観します。）
- 協議会【トータル30分を授業後すぐに行い、子どもの姿を「〇〇さんからは～」と語る。】
 - ・くじ引きで4、5人グループに分かれて協議15分。
 - ・全体協議1人30秒。「私が学べたのは、〇〇さんからで～」という語りで行います。
 - ・授業者より1分。参観者全員の発表から学んだ、自分の気付かなかった子どもの学びを話します。
- ※ 教員の経験に応じた指導方法の研修については、希望者が須賀川市研修センター「ジャンプアップ研修」などで個別に研修を行っています。



教員の変容

【授業研究を行う中で教員が協同して学び続けています。】

- 授業研究が日常化し、それを糧に日常の授業づくり・挑戦に取り組めるようになりました。
- 教員一人ひとりが研究の主体者となって授業研究に取り組むことができるようになりました。
- 協議会では、経験年数に関係なく全ての教員が子どもの学びについて語るようになりました。
- 職員室で子どもの名前を出して日常的に授業についての話題が出されるようになりました。

作成

2023年2月